

PRESIDENT'S MESSAGE | 会長挨拶

地形に刻まれた記憶を読み解き、未来に活かす。
地形学連合の役割と貢献

目に見える景観の一要素としての地形は古くから地理学の中で自然を構成する基本的要素としてとらえられてきました。科学的な地形に関する研究は18世紀以降、地理学や地質学の分野を中心として行われてきました。一方で、現代の社会のインフラの整備や社会生活と関連して、工学や農学の分野で計画、施行、制御を中心に地形の研究が進んできました。



会長 島津 弘

そこで同じ地形を一緒に議論する場をつくるために発足したのが日本地形学連合であり、連合という名前がつくことになった理由であります。連合という名前ですが、学会の連合体ではなく、別々のコミュニティーで語られてきた地形を共に語る場であるという意味の連合です。

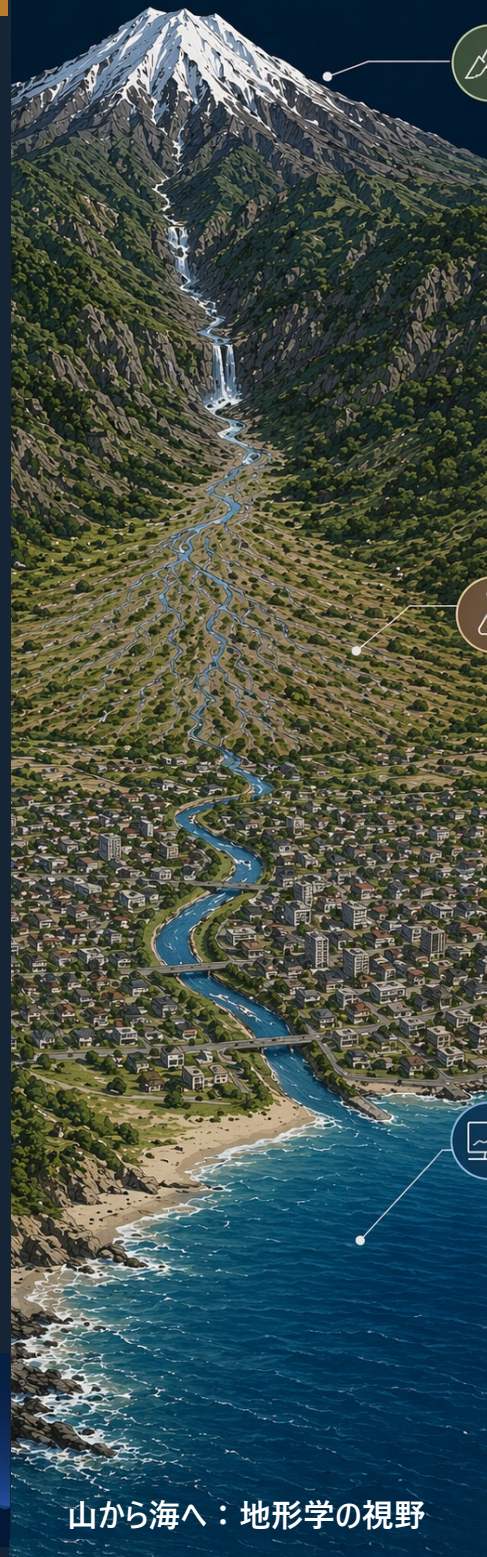
地形は自然環境を構成する基盤の一つであるだけでなく、地形変化が地球環境変動や動植物をはじめとしたさまざまな自然環境の変化と相互に関連しています。

さまざまな立場で地形と向き合う方々の集える場として、またさまざまな地形情報の発信の場として、地形学のさらなる発展と地球や地域への貢献を目標に活動を進めてまいります。私たちと一緒に地形について考えてみませんか。

HISTORY | 学会の歩み

- 1979 日本地形学連合設立（10月6日）
谷津栄寿、平野昌繁ほか8名の世話人により発足
- 1980 機関誌「地形」創刊（第1巻第1号、7月）
- 1984 「地形」年4号体制に移行（第4巻以降）
活版印刷で刊行本格化
- 2000 「地形」電子印刷、表紙写真のカラー化
- 2001 IAG 5th International Conference on
Geomorphology 中央大学で開催（8月）
- 2019 一般社団法人として登記（4月1日）

事務局：京都大学防災研究所内
office@japangeomorphology.org



山から海へ：地形学の視野



1. フィールド調査 Field Survey

自然環境におけるデータ収集
Data collection in
natural environments

- 地形・地質調査
Geomorphology
- 水文観測
Hydrology
- 堆積物サンプリング
Sediment sampling
- 露頭観察
Rock outcrops

山地から流出する河川が刻む大地は、地殻変動や風化・侵食プロセスを記録する。

Fluvial landscapes carved by rivers flowing from mountains record tectonic movements and weathering and erosion processes.



2. 室内分析 Laboratory Analysis

実験によるプロセス理解
Process understanding
through experiments

- 粒度分析
Grain size analysis
- 鉱物分析
Mineralogy
- 地球化学分析
Geochemistry
- 物性評価
Physical properties

扇状地や氾濫原、平野に残る堆積物は、運搬・堆積の過程を露わにする。

Sediments in alluvial fans, floodplains, and plains reveal the processes of transport and deposition.



3. 理論・モデリング Theory & Modeling

定量的な統合と予測
Quantitative synthesis
and prediction

- 数値モデル
Numerical models
- 流域解析
Basin analysis
- 侵食・堆積モデル
Erosion & deposition models
- 海面変動シナリオ
Sea-level change scenarios

観測・分析・モデルを統合し、地形の変遷と将来変化を予測する。

Integrating observations, analyses, and models, we predict landscape evolution and future changes.



一般社団法人

日本地形学連合
Japanese Geomorphological Union

入会案内

正会員（一般）	¥9,000 / 年
正会員（学生）	¥4,000 / 年
賛助会員	¥15,000 / 年



japangeomorphology.org

X @jgeomorph

f Facebook

地形学を通じて 大地と人をつなぐ

JGUは、地形学及びこれに関連する学問の進歩と普及のための事業を行う学術組織です。山地から海底に至る地球表面の形と成り立ちを研究する「地形学」を軸に、フィールド調査・実験・数値解析・リモートセンシングなど多様な手法で自然環境を探求します。

地形に関心を持つ研究者、技術者、教育関係者、学生、一般市民のどなたでもご入会いただけます。

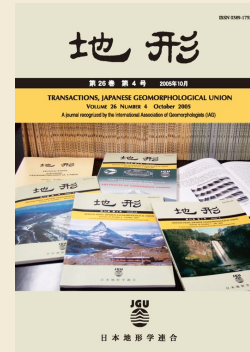
山地・斜面地形	河川地形	海岸・海底地形
火山・構造地形	氷河・周氷河地形	防災・減災



学術誌 地形

Transactions, Japanese Geomorphological Union

1980年創刊の機関誌。地形学に関する原著論文・総説・研究ノート・書評等を掲載。国際地形学会（IAG）承認誌であり、国際学術データベースScopusに収録。全文PDFはJ-STAGEでオープンアクセス公開（エンバーゴ期間として1年経過後。会員は発行後即時購読可能）。



発行頻度
年2回

CiteScore
0.3 (2023)

収録DB
Scopus (Elsevier)

創刊
1980年

5月 JpGU関連セッション

日本地球惑星科学連合大会（幕張メッセ）においてJGU主催・共催セッションを開催。国際色豊かな交流の場。

秋 JGU学術大会

全国各地の大学を会場に開催。口頭・ポスター発表、シンポジウム、巡検を実施。2026年は京都大学宇治キャンパスにて開催予定。

随時 シンポジウム・ワークショップ

ワーキンググループや共催イベントとしてのテーマ別シンポジウム・WSを随時開催。

主催 JGU地形の学校

シニア研究者による講義や、若手研究者による最新技術を用いた地形観測の講習、自然豊かなフィールドでの野外巡検など、一般向けの講習会。地形の成り立ちを研究者と一緒に学ぶ人気プログラム。毎年各地で開催。



出展 女子中高生夏の学校（夏学）

理工系・地学分野への関心を育むことを目的に、女子中高生を対象とした夏期体験プログラム。室内実験や研究者との対話を通じて、地形学の魅力を青少年に伝える交流会。

JpGU

日本地球惑星科学連合（JpGU）

地球惑星科学分野の連合組織JpGUの構成学会として、年次大会にセッションを主催・共催。国内最大規模の地球科学コミュニティとの連携。

防災

防災学術連携体（JANET-DR）

防災学術連携体の構成学会として参加。地形学の知見を防災・減災・国土強靱化に活かすため、関連学会・行政・社会との連携を推進。

IAG

国際地形学会（IAG）

JGUはIAGの国内組織として、世界70か国以上の地形学者コミュニティと連携。「地形」もIAG承認誌として国際的に評価。